

議会だより はこね



箱根地域健民祭



仙石原地域健民祭



宮城野地域健民祭

○湯本地域は実施しませんでした
○温泉地域は雨天中止

主な内容

- 9月定例会結果等 …………… P2~3
- 決算特別委員会 …………… P4~5
- 一般質問 …………… P6~10
- 正副議長・委員会委員紹介 …… P10~11
- 広報広聴委員会委員紹介 …… P12

9月定例会 (8月24日～10月3日)**議決件数 (24件)****条例改正 (5件) 可決**

第43号 箱根町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第44号 箱根町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

第45号 箱根町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

第63号 箱根町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第64号 箱根町附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算 (3件) 可決

第46号 令和5年度箱根町一般会計補正予算(第3号)

補正額 1億2,260万2,000円

主な内容

- ① 一般管理費 職員給与費追加…130万6,000円
- ② 企画経常経費追加 (旧温泉幼稚園落石防護工事補助金) …233万3,000円
- ③ 地震等災害対策事業追加…210万円
- ④ 財政調整基金積立金追加…2億6,021万3,000円
- ⑤ 子育て世代包括支援事業追加…356万2,000円
- ⑥ ごみ処理広域化推進事業更正減…2億2,500万円
- ⑦ ごみ処理費経常経費追加…5,206万9,000円
- ⑧ 町道113号線道路整備事業追加…1,300万円
- ⑨ 常備消防費 職員給与費追加…1,301万9,000円

第47号 令和5年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,458万5,000円

主な内容

- ① 後期高齢者医療広域連合納付金追加…1,458万5,000円

第48号 令和5年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 282万6,000円

主な内容

- ① 第1号被保険者保険料還付金追加…282万6,000円

工事請負契約の締結 (1件) 可決

第61号 工事請負契約の締結について

ごみ処理広域化推進事業 可燃ごみ中継施設及び剪定枝等ストックヤード整備工事

落札業者：株式会社神鋼環境ソリューション東京支社

契約金額：33億822万8,000円

決算認定 (付託案件)

※ P4-5 に決算審査関連記事を掲載

令和4年度箱根町一般会計及び9特別会計歳入歳出決算並びに水道事業会計・公共下水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について決算特別委員会に付託されていたもので、委員長報告のとおり認定された。

人事案件（2件）

第62号 教育委員会委員の任命について

高畠 和之 さん（宮城野在住）再任

第65号 監査委員の選任について

勝俣 剛一 議員（宮城野在住）

報告（1件）

第6号 財政の健全化判断比率等について

比率等の算定が法令等の趣旨に沿って適切に行われているかどうか、決算書及び統計数値等に基づき適正に表示されているか等、各種帳票を確認するとともに関係職員からの説明を求めた結果、審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

議会議事案件

決議（1件）

第58号 箱根町議会議員の適正定数に係る調査に関する決議

箱根町議会議員適正定数調査特別委員会に継続審査となっていました。議員定数を2名減とすることで委員長報告のとおり可決されました。

陳情第1号 箱根町をきれいにする条例改正

（景観破壊行為に行政代執行を可能とする）陳情

教育福祉環境常任委員会に継続審査となっていました。条例を改正しても行政代執行はそう簡単に行えるものではなく、趣旨としては理解できるものの、陳情内容の実現は難しいことから、「趣旨了承」となりました。ただ、当条例は比較的古い条例であることから、町に現在の社会状況に見合ったものとなるよう、見直しを提言しました。

議員別議案賛否一覧（賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣	
43	箱根町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
44	箱根町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
49	令和4年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
51	令和4年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
58	箱根町議会議員の適正定数に係る調査に関する決議について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	—
61	工事請負契約の締結について	可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
63	箱根町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—

* ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 退:採決退席 —:議長は採決に参加しません。

特別委員会

評価したり、今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

当特別委員会は、4日間にわたり会議を開き、慎重に審査を行いました。一般会計と特別会計を合わせた決算総額では、歳入が148億8,396万円、歳出が143億3,645万円で、5億4,751万円の黒字決算となったものです。

令和4年度は、本町においても物価高騰に見舞われるなど、厳しい年でありました。歳入においては、観光客の回復により入湯税が35.7%の増となり、町税全体では8.3%の増でありました。また、ふるさと納税では過去最高の15億2,000万円となっています。歳出においては、全町民への箱エールクーポン券配布や、町内の宿泊等で使える箱いこクーポン券の発行などを積極的に行い、限られた財源で効率良い事業執行がされました。予算化されたすべての事業において、一般会計と1特別会計は賛成多数、8特別会計においては全員賛成によって認定されました。

今後、第6次総合計画後期基本計画での基本構想と課題等計画に沿って進め、行財政改革推進と適正な行財政運営を要望します。

決算特別委員会 委員長 遠藤秀則



決算特別委員会の様子

審査のチェックポイント

歳入編

町税等の収入の状況確認
補助金の確保の動向
町債等の動向
その他の収入動向

歳出編

支出の適法適正の動向
不要額の妥当性
予算流用の適正状況
予備費の充当の適正度
補助金の効果
その他留意事項について
主な施策の成果の活用
財産に関する調書明細書の活用
基金の運用状況の審査
財産運用の適否の判断
仕事の出来高と出来具合の審査



令和4年度予算はこちら

決算認定までの流れ

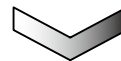
決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

令和5年3月31日
会計年度終了



令和5年5月31日
出納整理期間終了

- ・会計管理者が町長に決算を提出
 - ・監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出
- ※ 監査は秋山代表監査委員と、沖津監査委員が厳正に行いました。



令和5年
9月定例会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程



決算特別委員会での審査
(質疑)

開催日 9月11、12、20日
審議時間 午前10時～午後5時



定例会で討論を行い
各会計ごとに採決



全員賛成または賛成
多数で認定

※ 賛否が分かれた議案は、P3の議員別議案賛否をご覧ください。



決算特別委員会の様子

令和4年度 決算を審査!!

決算

決定した予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を

決算の概要は、町広報紙11月号(P8・9)に掲載しています。



ここに注目!! 具体的な審査内容

歳入編

- 固定資産税の決算の状況について
- 入湯税の滞納者への指導および未済額の対応について
- ふるさと納税(個人)寄付金全般について
- 企業からのふるさと納税寄付金について
- 町営住宅使用料滞納繰越分について
- 町民税の滞納繰越の状況について
- 町営観光施設の観覧料および入園料の詳細について
- ごみ収集運搬処理手数料およびごみ処理手数料について

歳出編

- 箱根DMO支援事業補助金の決定根拠について
- 省エネ設備等更新促進事業について
- 観光街路灯整備補助金交付事業について
- さくら館の温水プール運営管理委託料の内訳、委託業務内容について
- 大涌谷火山対策事業の内容と不用額が生じた理由について
- 新型コロナウイルス感染症自宅療養者の支援人員等について
- スクールマネジメント事業について
- 町道に架かる橋梁長寿命化改修事業について
- 育英奨学金の貸付金返還の状況について

討 論

決算認定に対しての、賛成・反対討論

賛 成 至 誠 会

日本を取り巻く社会状況は、依然として続くコロナ禍により厳しい状況だった。町では、第6次総合計画後期計画がスタートしたが、原油価格や物価の高騰に見舞われるなど、難しい年であった。歳入面では、緩やかな観光回復が見られ、入湯税が35.7%増となり、ふるさと納税は過去最高の15億2千万円となり町税全体で8.3%の増となった。

歳出面では、箱エールクーポン・箱いこクーポンの発行などを積極的に行い、その他231事業に及び事業執行を滞りなく施行した。しかし、経常収支比率が99.7%となることは、財政の硬直化を示すものであり、引き続き公共施設の統廃合を進めるなど、選択と集中、最小の経費で最大の効果をあげる理念を全うし、町民の福祉の向上に努めていただきたい。

賛 成 緑風クラブ

第6次総合計画後期基本計画が始まり、新型コロナウイルスだけでなく地球温暖化問題など、本町を取り巻く環境の変化が加速化している状況の中で、職員が一丸となり、情勢を見つづの対応や予算執行に努めたことについては大変評価します。

決算の状況を見ても、歳入では、自主財源の根幹をなす町税が、前年比8.3%、4億8,272万円の増となっており、ふるさと納税も過去最高の15億2千万円余りの寄付をいただいたことは町の企画力と納税者の協力姿勢に感謝する次第です。

今後は人口減少も見ながら、早目に見直しを行うなど、行政の効率化スリム化をさらに進めていただくことを願い、賛成といたします。

反 対 日本共産党

重い負担となっている固定資産税の超過課税は、当初5年間といわれながら続けられている。普通交付税の不交付団体あって超過課税を行っている矛盾の解消を急ぐべきだ。これに代わる財源確保として観光客に広く薄く協力金を負担してもらおうよう要望する。また、国際観光ホテル整備法による固定資産税の不均一課税にも早く終止符を打つべきだ。高齢者バス回数券補助事業では104万円の残が出ています。カード化やバス代の半額補助を行うことを求める。

9月定例会では、町政全般へ8人の議員が、15項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
勝俣 陽二	・箱根町における宿泊税の導入について	6
折橋 尚道	・観光需要が大きく上昇する中での、積極的な観光施策の方針と実施計画の実行	7
勝俣 泰彦	・農用道路の現状及び管理状況等について ・町道仙96号線の整備状況及び維持管理・運営等について ・住宅宿泊事業（民泊）や簡易宿所事業者の指導状況及び今後の対応等について	
村野由紀子	・防災・減災対策について ・町営住宅について	
遠藤 秀則	・SDGs推進計画について	9
鈴木 美貴	・学校教育の充実について ・多様な観光資源を活用した誘客と受け入れ体制の充実について ・住環境の整備について	
山田 和江	・買い物不便対策について ・若者の定住化対策について ・ナラ枯れ対策について	
佐藤 章子	・行財政運営について	10

町の考え方を問う！

一

般

質

問



※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。

箱根町における宿泊税の導入

町…令和11年度の導入を目指していく

また、箱根町行財政改革有識者会議の提言にもあったように、観光客に更なる負担を求めることも必要であるとのことから、他市町の観光地でもすでに導入をはじめ

Q わが箱根町は中長期における慢性的な財源不足であり、また約1.1万人という人口に対して2000万人の観光客が訪れるために、ごみ処理、消防救急、下水道処理、観光施策など観光客を受け入れるための経費は、地方交付税交付金の普通交付税の算出根拠となる基準財政需要額の対象外となってしまうため、町としては財源不足に困窮しているにも関わらず、数字の上では財政力指数が1.0以上という高い数字となり、地方交付税交付金の普通交付税の不交付団体となっている。



行財政改革調査特別委員会

A 町長 検討会議をはじめ、町民や事業者の皆様の見聞も伺いつつ、行財政改革アクションプランに基づき令和11年度の導入を目指して、検討を進めていきたい。

勝俣 陽二 議員

観光需要の増加に対応した、施策とその実効性

町…積極的な観光施策の展開と観光DXの構築を進める



折橋 尚道 議員

Q 今後の国内外の観光キャンペーンについてどのような取り組みをしていくのか。また、箱根DMOとの連携は。

A 町長 神奈川県の西さがみ地区観光事業推進連絡会は、国内の主要都市で4回の観光プロモーションを実施する予定で、商談会やメディアでのPRを通じて、西さがみ地区の魅力アピールしていく。国外では、箱根コンベンションビュローが東南アジアのベトナムや台湾で国際観光プロモーションの予定である。箱根DMOとは、観光課職員と協力して観光展に参加や箱根物産の販売をしていく。

Q 効果的な観光事業を実施するうえで、人流・金流の動きなど観光データの解析と共に、観光DXに関する取り組みが急務と考えている、今後の町の取

組みは。

A 町長 観光データ解析の強化と観光DXを進めることは、観光施策を進めるうえで不可欠である。町

では、箱根DMOと協力して、観光DX事業に着手しており、キャッシュレス化の推進やAIカメラによる観光客の動向データの蓄積及び分析などを実施している。また、他社とのデータ連携や分析結果の提供なども行っており、多角的に取り組んでいる。これらの取り組みは、観光客の満足度の向上と町内経済の拡大に寄与するものと考えている。



箱根DMO事務所

仙石原農道の町道移管計画及び住宅宿泊事業者への指導方針は

町…町道移管条件が完了後管理予定・関係行政機関と連携し対応したい



勝俣 泰彦 議員

Q 仙石原農道の町道移管計画は。

A 町長 整備計画は平成29年度から令和8年度までに測量及び路面舗装工事を計画したが、効率的な作業を行う観点から計画を見直し、現在までに総延長996m全域の測量や、進入路103mの舗装工事、排水路調査を実施した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行に伴う財政状況を踏まえ、事業執行を見送らせていただいたことから、改めて整備計画を練り直す必要があるため、関係各課の協力を得ながら策定している。町道移管は道路整備等移管条件が完了後、町道として管理していく予定。

Q 住宅宿泊事業の適正な運営を促すための指導方針は。

A 町長 民泊に関しては、住宅宿泊事業法を始めとする、国の法令や神奈川県においては、住宅宿泊事業法18条の規定による住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例が整備され、町でも平成30年6月に民泊の手引き、令和4年6月に簡易宿所の手引きを作成し、町ホームページや小田原保健福祉事務所窓口に配架している。神奈川県では、平成30年6月に「住宅宿泊事業の適正な運営に関する指導方針」を制定していることから、県指導方針に重ねて町の指導方針を設けることは考えていない。



仙石原農道

町営住宅募集の推進を

町… 募集機会を増やすなど検討する



村野 由紀子 議員

Q 町営住宅の最近の状況は。

A 福祉課長 令和3年度は3回、10戸の募集で応募数は4世帯、入居決定数は3世帯。令和4年度は1回、3戸の募集で応募数は3世帯であったが、すべて辞退。令和5年度は4月に7戸募集で応募数は5世帯、入居決定数は4世帯。

Q 町営住宅の空き部屋は、令和5年8月7日現在、44戸。

A 横浜市では、募集割れや辞退により入居とならなかった住宅は、改めて入居の募集を行っている。福祉の住宅とはいえず、空き部屋をそのままにするのは望ましくない。応募者が予定を立てやすいように、募集の時期の固定、応募がない場合は、再度募集をかけるなど、柔軟な対応ができないか。

Q 福祉課長 募集の機会を増やすなど検討する。

A 入居時、独居の高齢者等から連帯保証人を頼める人がいなくて困っている。という声もあり、辞退された方もいる。

Q 国土交通省では、身寄りのない高齢者が増え2018年に公営住宅の入居に保証人を求めない方針を打ち出している。保証人の確保も入居の妨げになっていると思うが考えは。

A 福祉課長 連帯保証人がなかなか見つからないという声を聞くこともある。町営住宅使用料を回収できない辞退を防ぐという重要な役割を果たすため規定している、理解してほしい。



仙石原町営住宅

SDGs 推進計画の町全体の取組みと町民への啓発と地域への実践取組みは

町… 「住み続けられるまち」・「選ばれ続ける観光地」の実現に向け、積極的に取り組んでいく



遠藤 秀則 議員

Q 地球環境を守る「持続可能な開発目標」SDGs、平成27年9月国連サミットで採択、2030年までによりよい世界を目指す国際目標とし、環境・社会・経済と様々な課題解決に、世界の人々が取り組む「17のゴール」と「169のターゲット」の目標と、達成度を測る「232の指標」が設けられた。そこで町全体の取組みと町民への啓発・地域への取組みは。

A 町長 町全体の取組みについては、箱根DMO、宿泊、商工会議所、美術館、金融関係などの民間事業者や、環境省や町等行政機関と協働で実施。地域コミュニティ活性化では、町民、事業者、行政、観光客等箱根に係わる人々と連携・協働をし、「住み続けられるまち」・「選ばれ続ける観光地」実現に向け、積極

Q 的に取り組む。

A SDGs 推進に各施策等に17のゴールを記載したのでは、町全体の取り組む機運醸成には至らないという危惧があり。町民アンケートでの認知度は4割程度で知らないほうが多いと思うが、わかりやすく広報すべき取組みは。

A 企画課長 名称と内容も知っているのは「9.3%」と低く、SDGsを意識していただく機会を増やし、幅広い層に自分事と捉えていただけるよう、周知方法を検討していく。



湯本小学校長寿命化改良計画は

町… 令和6年度からの工事に向けて準備を進めている



鈴木 美貴 議員

Q 校舎の断熱や遮熱、換気などの改修を行う事例があり、換気については、湿度などを感知して自動で換気する「デマンド換気」といった方法もあるが、校舎の断熱、遮熱、換気の改修を長寿命化工事に合わせ実施するののか。

A 学校教育課長 校舎の断熱や遮熱については様々な方法があり、既の実設計受託業者に指示し検討を進めており、換気についても、冷房や暖房の効果を抑えない換気方法を検討し、施設の安全性の向上、バリアフリー化など費用対効果を意識し、実施設計に反映していきたい。

Q 町民の高齢化とともに、観光客も高齢化し、子どもを連れた方も多く訪れることから、散策時やバス停留所に、買い物帰りに座れるベンチや寄りかかる

だけのコンパクトなベンチといった、気軽に腰掛けられるベンチを求める声があるが、町の考えは。

A 町長 いこいや遊びの場の機能を担っている公園等は20か所あり、168基のベンチが設置されている。散策ルートやバス停でのベンチ設置については、本町の歩道には十分な歩道幅が確保されている場所が少ないことから、寄りかかるだけのコンパクトなベンチの設置も場所が限られるが、道路整備等によって関係する道路管理者やバス事業者等に相談していきたい。



バス停留所

民間事業者と連携して移動販売車を買物不便地域に走らせる考えはあるか

町… 町の立地や道路事情などの特性に合った方法を研究していきたい



山田 和江 議員

Q 共産党が実施した「町民アンケート」では、買い物不便対策を望む声が一番多かった。高齢化が進み、商店も減り、日常の買い物に困っている住民が増えてきたことは以前から指摘されていることが、住民が安心して日常生活を送るためにも、また、これ以上の人口減少に歯止めをかけるためにも、この問題は避けて通れない重要な課題であると考えます。そこで、松田町のように、町が民間事業者と連携して、移動販売車を買物不便地域に走らせる考えはあるか。

A 町長 現在町は、買い物支援にかかわる様々な施策を展開しているところであり、その可能性の一つとして、移動販売についても、先進事例などを参考に

Q 可能性の一つとして、研究していくということについて、具体的な内容があるのか。

A 福祉課長 民間企業から移動販売について、打診があったという経過がある。

Q 町と住民が出資して協同組合方式でミニスーパー運営の考えは。

A 町長 大変難しいと考える。



箱根町は地方交付税不交付団体であるが今後の展望は

町…現在は交付算定基準外であるが、今後も国、県に訴えていく



佐藤 章子 議員

Q 2市8町の中で箱根町は地方交付税が交付されていないがその要因は。

A 町長 地方交付税制度は本来地方の税収入とすべきものを、地方団体間の財源の不均衡を調整し全ての地方行政サービスを行えるよう財源を保証する見地から、国税として国が地方に変わって徴収する地方税であり、本町は昭和33年度から66年間、普通交付税を受けていない。要因については標準的な行政サービスを賄う為に必要な財政需要や収入を算定し不足額を補う制度であり算定方法の根幹となる部分が法律で規定されていることから、この先も交付団体になることは無いと考えている。それを念頭に置きつつも本町は国内有数の国際観光地として、ゴミや下水道の処理能力が人口規模以上のものである

施設を整備する必要があり、また、消防活動については対象者が住民だけでなく観光客や観光業務に携わる従業員も含まれておりその設備投資には多額の費用を要している。

この部分は現行の交付税算定上算入されておらず受け入れ難い状況もあり、今後も国や県に対して地方交付税制度になるよう意見書の提出や要望等によりしっかりと訴えて行きたいと考えている。



10月3日 正副議長決定！！ 委員会の構成も新たに



副議長
稲葉親太郎

議長
山田成宣

4期目同期の
正副議長

9月定例会本会議におきまして、箱根町議会議長及び副議長に推挙を賜り、身に余る光栄であり、身の引き締まる思いであります。

町では、財政難に伴う固定資産税の超過課税など、様々な課題があると認識しております。この諸課題に対して真摯に向き合い、二元代表制の一翼を担う議会として責務を果たしてまいりたいと考えております。

議員は町民皆様の身近にあつて、意見をきめ細かく町政に反映させる責務を担っていることを忘れないように心掛け、活発に政策提言を行い、町政の発展に全力を尽くしてまいります所存でありますので、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会



勝俣剛一、川口延明、鈴木美貴
村野由紀子（副委員長）、折橋尚道（委員長）、勝俣泰彦

当委員会は、議会を円滑、効率的に運営するために設置されています。
議会の日程や、会期、議案、一般質問の取り扱いを議会招集前に協議します。
また、議長の諮問事項として、議会の諸規定等の起草及び先例解釈、運用等も協議を行います。

総務企画観光常任委員会



折橋尚道、勝俣剛一、山田成宣
沖津弘幸、佐藤章子（副委員長）、勝俣泰彦（委員長）、山田和江

当委員会の所管事項
総務部、企画観光部、消防に関する事項の調査や審査を行います。

教育福祉環境常任委員会



遠藤秀則、鈴木美貴、勝俣陽二、稲葉親太郎
川口延明（委員長）、村野由紀子（副委員長）

当委員会の所管事項
教育委員会、福祉部、環境整備部に関する事項の調査や審査を行います。

「箱根温泉発祥之地」の碑をご存知ですか。



温泉場入口バス停から湯本橋を渡り
突き当たりを、右（熊野神社手前）

（写真・投稿者 広報広聴委員会 勝俣泰彦 委員）

熊野神社（湯本鎮座）境内入口に「箱根温泉発祥之地」と刻まれた碑があり、脇には湯本温泉最古の源泉（湯本9号泉）があります。

この源泉は、箱根全山でもっとも古い源泉といわれており、奈良時代の天平10年（西暦738年）に、全国に蔓延した疱瘡を治すため、白山権現高僧の泰澄大師が派遣した弟子の浄定坊がこの地で祈願をし、霊泉が湧き出し、疱瘡が治癒したと伝えられています。（七湯の枝折から抜粋）

その後、箱根各地で温泉が発見され、箱根七湯から十七湯まで広がりました。湯本温泉はその最初に発見された温泉であり、まさに「箱根温泉発祥の地」です。

広報広聴委員会



勝俣陽二、佐藤章子、鈴木美貴
折橋尚道、村野由紀子、勝俣泰彦

インターネットやスマートフォン の普及、SNS の利用者の急増等で、情報発信の多様化は町議会の広報広聴のあり方にも影響を与えています。

町民の皆様が議会を身近に感じられるよう、親しみのあるわかりやすい編集を心がけ、議会だより等、多様な媒体を通じて情報提供し、議会報告会や意見交換会の開催も計画しながら広報広聴機能の充実を図ってまいります。

これから2年間、新たなメンバーでがんばります！

広報広聴委員会 委員長 村野由紀子

12月定例会の日程（予定）

本会議 11月30日（木）、
12月7日（木）、12月12日（火）

※11月22日（水）開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。

詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

広報広聴委員会

委員長
副委員長
委員

村野由紀子
折橋尚道
鈴木美貴
勝俣陽二
勝俣泰彦
佐藤章子
勝俣泰彦